3734
特55
508
曉齋百鬼画談

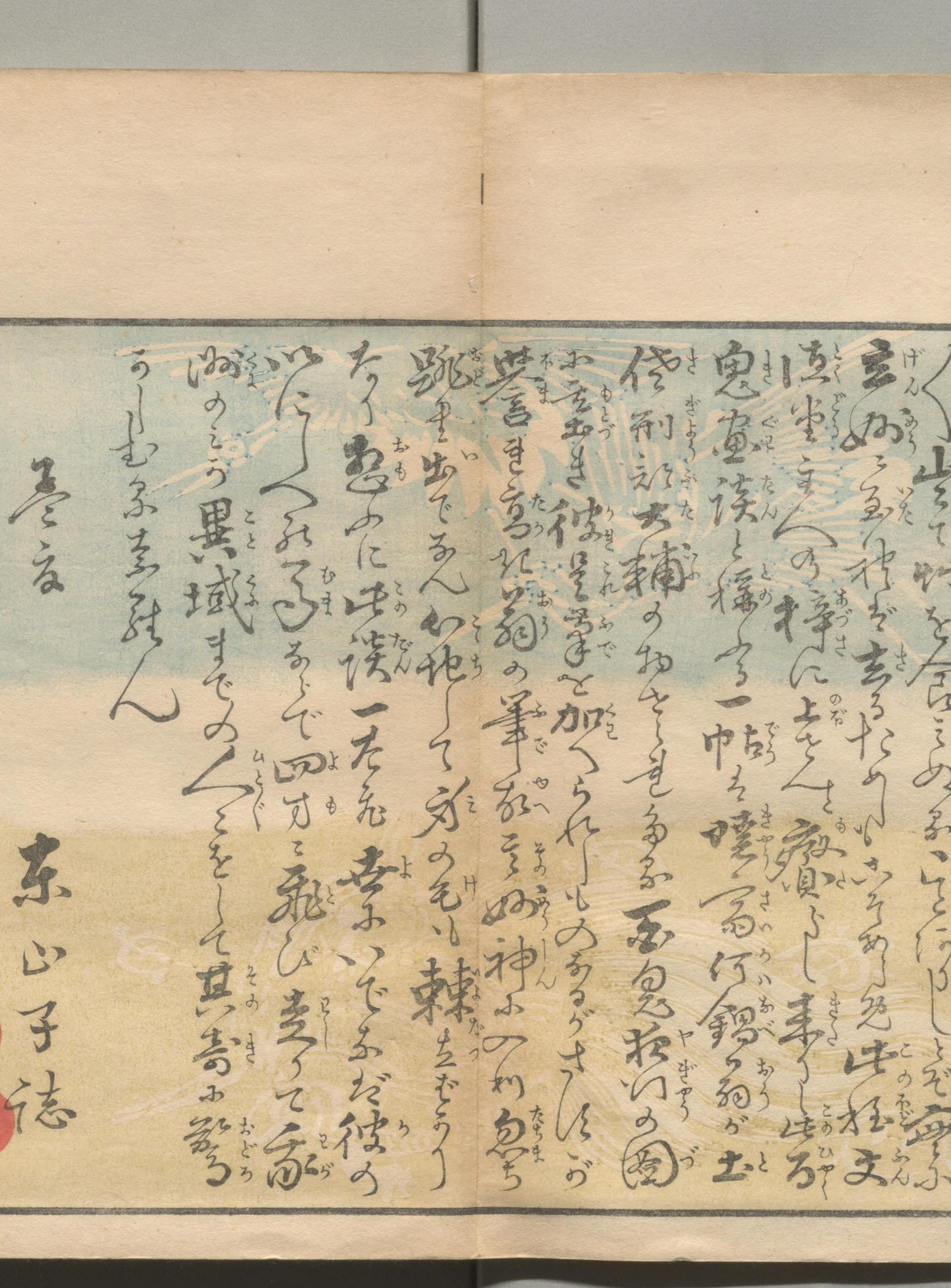
特55
508
No 19342/22

河鍋洞郁先生画

曉齋百鬼画談

明治二十二年八月 文德堂藏

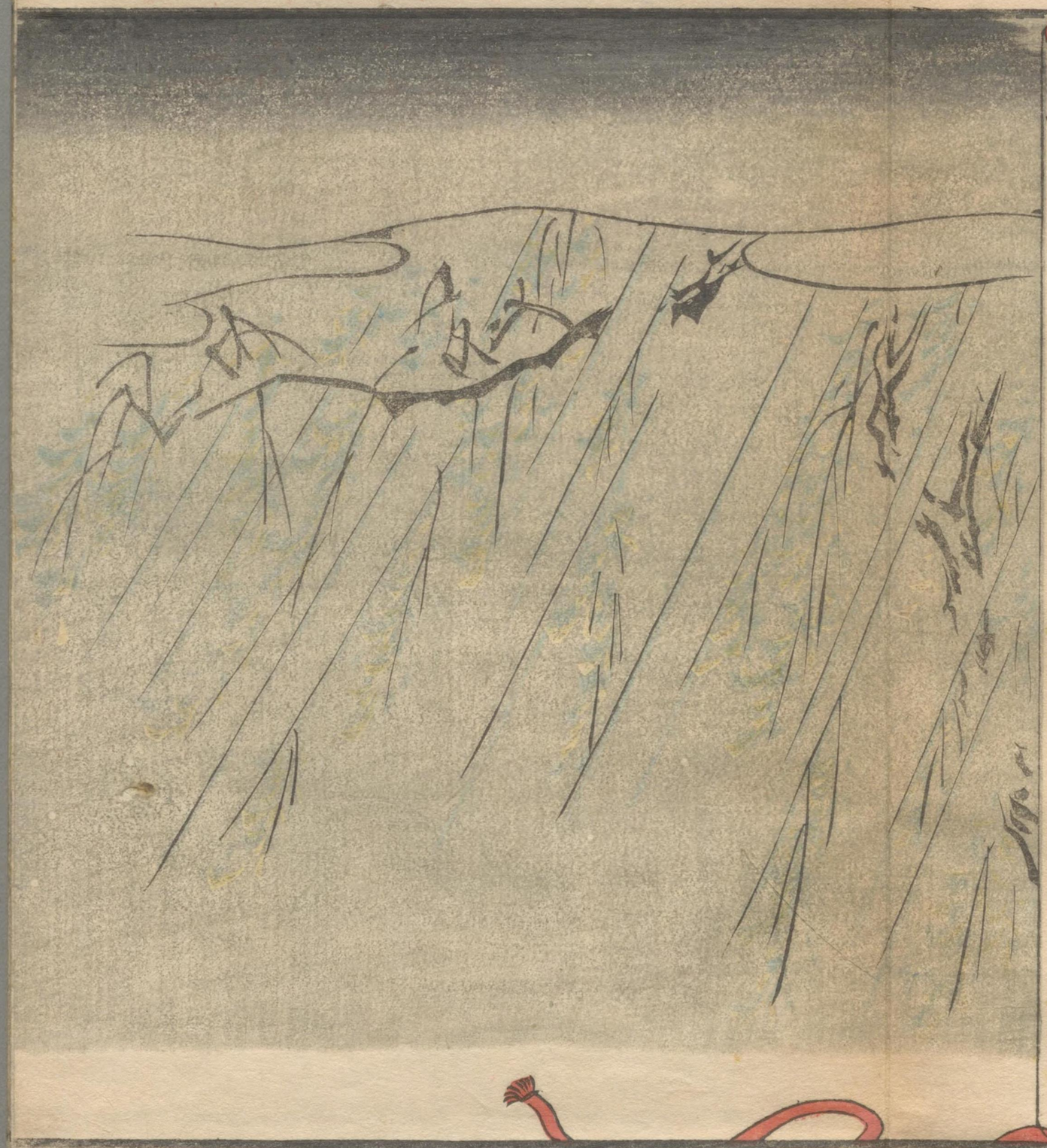
往古のみぎ要事を巧を凝さし集の夜ふ
くゝ山にて竹を合こゝめるゝことにしとぞ寧ふ
玄妙こゝ神ぎ去るなりもさそあり此柱文
直坐まへの梓に上をんと寶らし来りし此石
鬼直談と稱する一帖を嘆富何錫翁が土
俗刑部大輔のおさしまゝ玉鬼拓の圖
に書き彼是筆を加へられしものなるがさしほゞが
其言まゝ高れ翁の筆なる妙神にのれ鬼ち
跳まゝ出でなん心地して刃の毛も棘たゞなり
なり恵みに此談一左右喜ばいでなんだ彼の
いにしへ和高なるで四方に飛び走りて亀
淵のこう異域までの人をして其寄に驚
かしむ事なるべん



冬夜

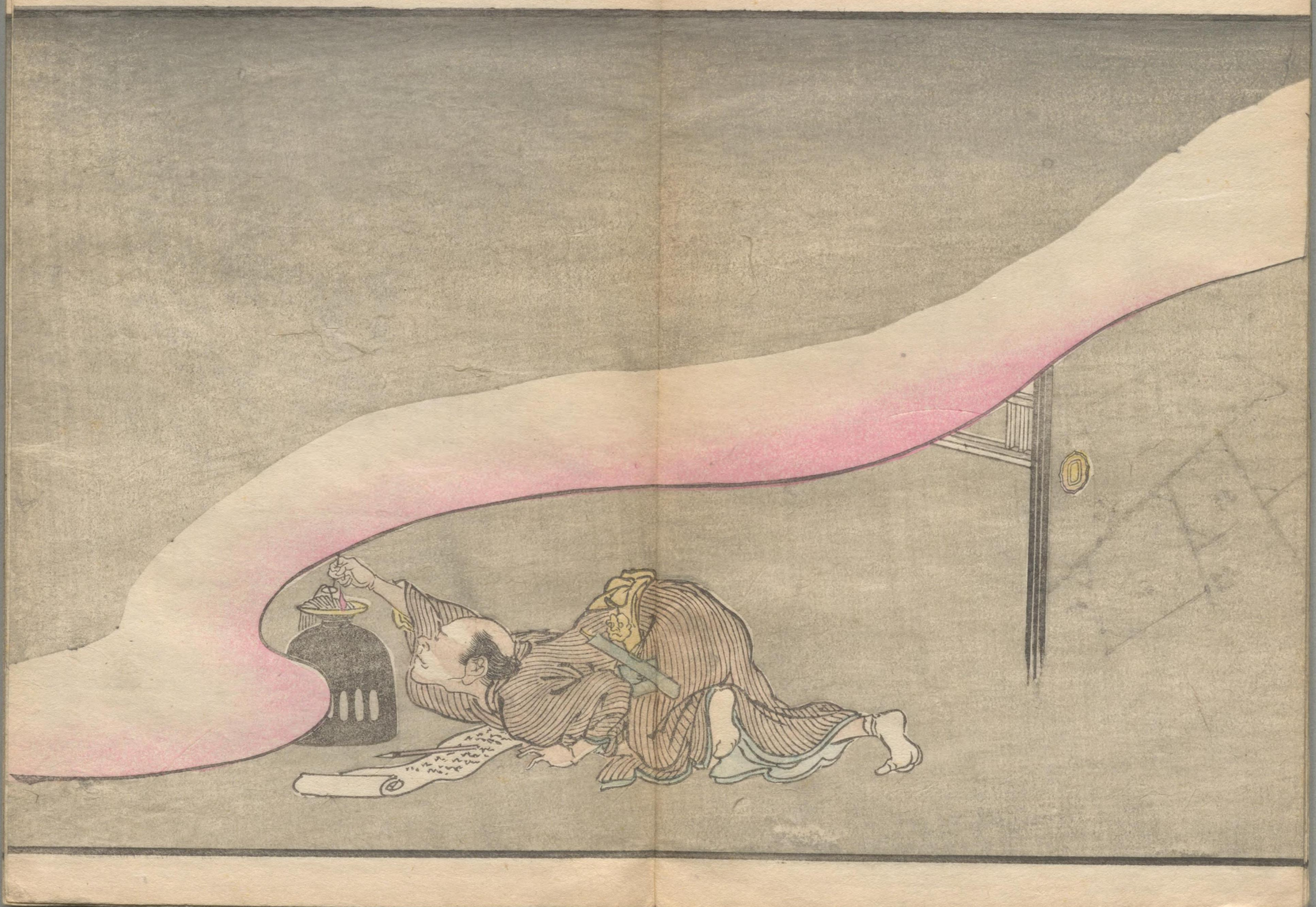
東山子徳

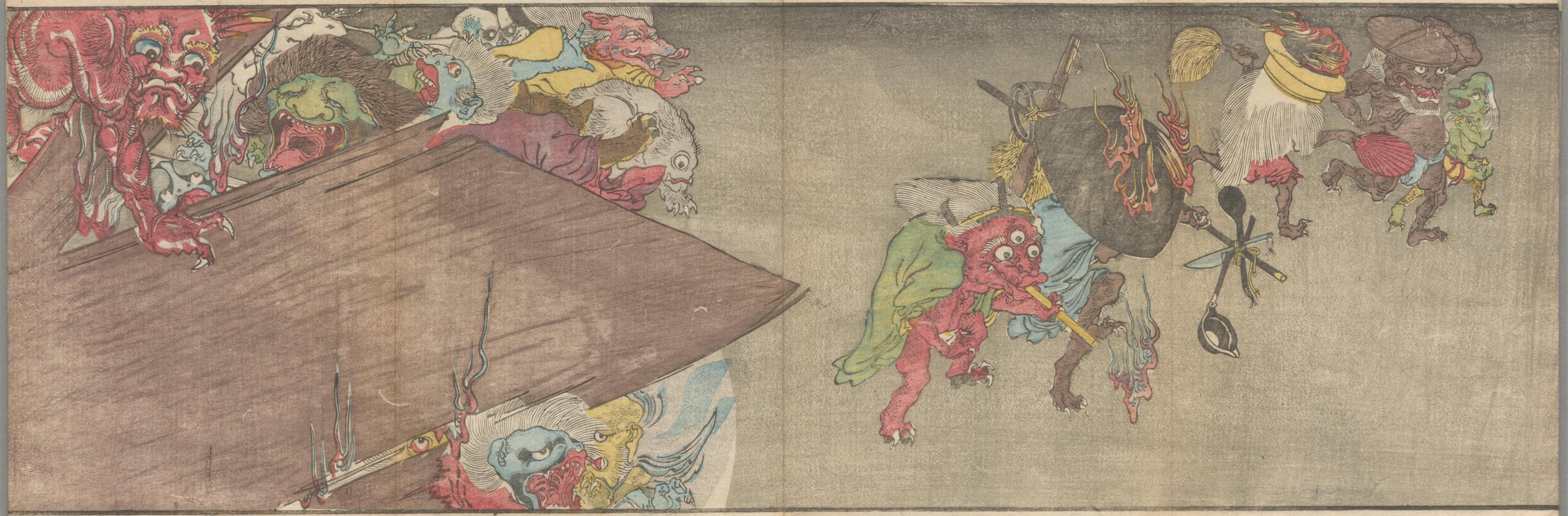
雅風岩



暁斎百鬼画談

画工　河鍋洞郁





曉斎百鬼画談

明治二十二年八月廿五日印刷
同　年八月廿九日出版

東京市浅草區聖天横町廿六番地
發行者　平民　岩本俊
仝市仝區西仲町拾六番地
印刷兼離刻　中川長晴

繪畫書談帙大本四冊　彩色入上等佳

右ハ本邦畫家（徽宗帝ヨリ元人ニ及ビ明朝ニ至ル沈英ノ外支那畫家ノ名畫ヲ出ス）大和畫巨擘金岡島物備正志貴山縁起春日宇長年中行事武者繪百冨士富士見西行畫仁和寺天和ノ頃ノ三十番職人尽歌合三十番神社繪等ノ古畫ヲ始メ古今ノ名畫ヲ網羅シ且ツ其ノ畫家ノ傳記ヲ詳ニシ又ハ畫ノ出所ヲ明ニシ且ツ其ノ畫ノ眞贋ヲ辨ジ其ノ畫ノ巧拙ヲ論ジ其ノ畫ノ價ノ貴賤ヲ定メ其ノ畫ノ由緒ヲ記シ其ノ畫ノ故事ヲ説キ其ノ畫ノ風俗ヲ考ヘ其ノ畫ノ名稱ヲ正シ其ノ畫ノ時代ヲ別チ其ノ畫ノ流派ヲ分チ其ノ畫ノ作者ヲ定メ其ノ畫ノ優劣ヲ判ジ其ノ畫ノ眞贋ヲ鑑定シ其ノ畫ノ價格ヲ評シ其ノ畫ノ保存ヲ論ジ其ノ畫ノ模寫ヲ戒メ其ノ畫ノ修補ヲ説キ其ノ畫ノ表具ヲ論ジ其ノ畫ノ箱書ヲ記シ其ノ畫ノ極札ヲ附シ其ノ畫ノ目録ヲ作リ其ノ畫ノ索引ヲ設ケ其ノ畫ノ圖版ヲ掲ゲ其ノ畫ノ解説ヲ加ヘ其ノ畫ノ參考ヲ示シ其ノ畫ノ附錄ヲ添ヘ其ノ畫ノ補遺ヲ載セ其ノ畫ノ正誤ヲ糺シ其ノ畫ノ索引ヲ終ル

附言　日數金圓古土佐　已裏の價位
一金百円以上金千円内外の物八品を上ゲる
唐畫宋元明畫幅の價位
一金拾円以上金三百円内外の物拾八品を上ゲる
其餘は畫譜畫價安き歟知るべし仍て上ゲ

大坂心齋橋　松村九兵衛
仝南久宝寺町　前川善兵衛
諸　仝本町四丁目　岡島真七
書　西京　藤井孫兵衛
尾州名古屋御　片野東四郎
國　仝　川瀬代助
美濃岐阜　三浦源助
加州金沢　近岡屋太平
書　越中富山　守川吉兵衛
信州長野　西澤喜太郎
肆　仝　上田　伊藤甲造
仝　松本　高見甚左門
越後長岡　佐藤作平
越後長岡　目黒十郎
仝三條　樋口小左エ門
諸　陸前仙台　伊勢屋安右エ門
羽前山形　五十嵐太右エ門
渡島函館　魁　文　堂
國　甲州山梨　内藤傳右エ門
駿州静岡　廣瀬市兵衛
書　上州高崎　煥　乎　堂
野州宇都宮　萬年屋忠兵衛
上総東金　飴勢多左エ門
武州横濱　吉川伊兵衛
仝鴻ノ巣　長島為一郎
東京　島屋稲垣武八

東京書肆

北畠茂兵衛
柳川梅次郎
稲田佐兵衛
丸屋善七
吉川半七
辻岡文助
出雲寺万次郎
小林文七
酒井藤兵衛
別所平七
牧野吉兵衛
東陽堂
談責元　大倉孫兵衛

特55-508
1200500914899